

日 野 市 立 潤 徳 小 学 校
令 和 7 年 2 月 3 日
特別支援教室【ステップ教室】

朝は校庭一面に霜がおり、厳しい寒さはまだまだ続いています。インフルエンザ等も流行していますので、うがい、手洗いを心がけながら気をつけていきたいですね。

早いもので、三学期も間もなく折り返しです。進級や卒業に向けてまとめの時期となります。この一年での
がんばりや成長を子供たちとふり返りながら、自信をもって次の学年へすすめるよう支援していきたいと思
います。

今月号では、子供の成長と脳の発達についてお話をします。脳は3段階で育っていき、この順番は誰もが共通であると言われています。この順が崩れてしまうと、発達にアンバランスさが出てしまうことがあります。

脳の発達 の 順

① からだの脳

起きる、寝る、食べる、体を動かすといった健康に生きていくために大切な機能が備わっている部位です。

② 人間らしさをつくる脳

言語を使う、知識をためる、スポーツ、微細運動などの機能が備わっている部位です。学校の勉強に直結し、点数で表されることが多いですが、勉強だけでは育たないと言われています。

③ ころろの脳

感情のコントロール、コミュニケーション、論理的な思考、想像力など、社会で生きていくうえで必要な機能を担っています。

それぞれの脳の育て方の例

① からだの脳

生活リズムを確立させることと、感覚統合運動がよいとされています。寝る時刻が遅くなくても、朝起きる時刻は守るなど、生活リズムがぶれないための軸があるとよいです。また、体を動かすことは様々な刺激が体に入っていきます。走る、跳ぶ、触る、嗅ぐなどの様々な感覚を使った遊びをしましょう。



② 人間らしさをつくる脳

学校や、学校以外で習う知識や情報によって育っていきます。しかし、スマートフォンなどの電子機器での情報では、脳が未発達な子供にとって、「スマホ依存」になってしまうリスクの方が高いので注意が必要です。学習では、勉強の点数を気にしすぎないことも大事です。点数よりも意欲や努力を褒めたり励ましたりして興味や視野を広げるように促します。料理、キャンプ、スポーツなどの体験から学べることは多くあります。



③ こころの脳

雑談や家庭の中に役割を与えることがよいとされています。雑談では子供の話を遮ったり否定したりしないよう心がけていきます。楽しい会話を知ること、自然と感情の表出を学び、コミュニケーションの基本を身に付けていきます。家庭の中に役割を与える際は、おだちんを渡さないこともポイントです。

